



南山大学大学院 理工学研究科

2027

ソフトウェア工学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

データサイエンス専攻（博士前期課程・博士後期課程）

電子情報工学専攻（博士前期課程）

機械システム工学専攻（博士前期課程）

機械電子制御工学専攻（博士後期課程）

NANZAN
UNIVERSITY

理工学研究科

南山大学は、

1. 開発工程支援型工学 (process-oriented engineering) と
特定製品開発支援型工学 (product-oriented engineering) の有機的統合
2. 理学の方法論に基づく工学教育

を実現することを目指し、2013年4月に、数理情報研究科を発展的に改組・変更し、システム数理専攻、ソフトウェア工学専攻、機械電子制御工学専攻の3専攻からなる理工学研究科を開設しました。

理工学研究科は、理学を基礎とし、ソフトウェア工学やデータサイエンスなどの開発工程支援型工学と、機械工学や電子工学などの製品開発技術を修め、それらを有機的に統合させることで、産業構造の変化に伴う技術の変容に対して柔軟に対処できる技術者の養成を目指します。

2025年4月にデータサイエンス専攻(博士後期課程)、電子情報工学専攻(博士前期課程)、機械システム工学専攻(博士前期課程)、機械電子制御工学専攻(博士後期課程)を新たに開設しました。



ソフトウェア工学専攻 (博士前期課程)

専攻の目標

応用分野を選ぶことなく、様々なソフトウェア開発プロジェクトの先頭に立ち、多種多様な技術を取り入れながら開発を遂行できるソフトウェア技術者を養成します。

理学の方法論を基礎として、ソフトウェア開発工程の要素技術を教育し、機械電子制御の分野を応用例として要素技術の選択・統合を行うメタ技術を学修することで、様々な応用分野において新技術を柔軟に受け入れながら開発を遂行できる能力を涵養します。



修了後の進路と履修モデル

科目	修了後の進路			
	上級システムエンジニアおよびアーキテクト(組込みシステム分野)	上級システムエンジニアおよびアーキテクト(エンタープライズシステム分野) プロジェクトマネージャ		
研究科共通科目	アカデミックリテラシー			
基礎科目	ソフトウェア工学概論 アルゴリズム研究 情報科学概論			
専攻科目	ソフトウェア要求工学 ソフトウェア構築と保守 正当性検証と妥当性確認 ソフトウェアアーキテクチャ	ソフトウェア要求工学 ソフトウェア構築と保守 ソフトウェア生産管理研究 ソフトウェアアーキテクチャ		
副専門領域科目	制御工学概論 機械工学概論	データ工学研究 情報システム工学研究		
研究指導科目	研究指導 I A 研究指導 II	研究指導 I B 研究指導 III	研究指導 I C 研究指導 IV	研究指導 I D 研究指導 V

データサイエンス専攻 (博士前期課程)

専攻の目標

データサイエンス専攻 (博士前期課程) では、確かな数学的素養の上に、主専門領域として、様々な特長や価値を持った数理技術としてオペレーションズ・リサーチ、統計学を修め、さらに深層学習や人工知能技術について学びます。これらを開発工程支援技術として、様々な場面に柔軟に活用して問題解決策を提案できる人材を育成します。



修了後の進路と履修モデル

科目	修了後の進路			
	生産・物流システム管理者	製造システムの設計支援技術者		
研究科共通科目	アカデミックリテラシー			
基礎科目	オペレーションズ・リサーチ概論 数理統計学概論 データサイエンスの数理			
専攻科目	最適化手法研究 機械学習研究 深層学習研究 データサイエンス演習(オペレーションズ・リサーチ) I データサイエンス演習(機械・深層学習) I データサイエンス演習(オペレーションズ・リサーチ) II データサイエンス演習(機械・深層学習) II	ビッグデータ解析研究 機械学習研究 深層学習研究 データサイエンス演習(統計学・ビッグデータ解析) I データサイエンス演習(機械・深層学習) I データサイエンス演習(統計学・ビッグデータ解析) II データサイエンス演習(機械・深層学習) II		
研究指導科目	研究指導 I A 研究指導 II	研究指導 I B 研究指導 III	研究指導 I C 研究指導 IV	研究指導 I D 研究指導 V

電子情報工学専攻 (博士前期課程)

専攻の目的

通信工学やネットワーク、データ工学、情報通信セキュリティ、情報システム工学など、電子工学および情報工学の諸技術を教育します。コンピュータとネットワークが組み込まれ多種多様なデータがやり取りされる電子通信機器およびセキュアな情報通信基盤の設計、実装、運用、保守などの局面において活躍できる高度技術者を育成します。



修了後の進路と履修モデル

科目	修了後の進路	電子通信機器・通信システム設計者・開発者	情報通信基盤設計者・開発者
研究科共通科目		アカデミック・リテラシー	
基礎科目		電子工学概論 情報工学概論 数理論理学概論	
専攻科目		通信工学研究 ネットワーク設計研究 情報通信セキュリティ研究	データ工学研究 情報通信セキュリティ研究 情報システム工学研究
副専門領域科目		ソフトウェア工学概論 アルゴリズム研究 数理論理学概論	正当性検証と妥当性確認 データサイエンスの数理 機械学習研究
研究指導科目		研究指導 I A 研究指導 II	研究指導 I B 研究指導 III
		研究指導 I C 研究指導 IV	研究指導 I D 研究指導 V

機械システム工学専攻 (博士前期課程)

専攻の目的

システム制御工学および機械工学を基礎として、情報技術の活用による機械システムの設計と開発を高度化する技術者を養成します。他専攻の専門を横断的に学びながら複合的技術適用能力を高め、自動車、ロボット、精密機械、航空宇宙機などの具体的対象において新しい価値を創造する能力を涵養します。



修了後の進路と履修モデル

科目	修了後の進路	機械システムの機能仕様の策定や制御の方法の設計を担当する技術者	機械システムの開発および開発した機能の試験や評価を担当する技術者
研究科共通科目		アカデミック・リテラシー	
基礎科目		制御工学概論 機械工学概論 システムの推定と同定	
専攻科目		制御工学研究 ロボット工学研究 システム理論研究	制御工学研究 ロボット工学研究 メカトロニクス研究
副専門領域科目		オペレーションズ・リサーチ概論 最適化手法研究 機械学習研究	ソフトウェア工学概論 アルゴリズム研究 情報科学概論
研究指導科目		研究指導 I A 研究指導 II	研究指導 I B 研究指導 III
		研究指導 I C 研究指導 IV	研究指導 I D 研究指導 V

理工学研究科 (博士後期課程)

博士後期課程の目標

数学、物理学、情報科学といった理学の方法論の修得を基礎にソフトウェア工学やデータサイエンスなどの製品の開発工程支援型工学を深める専攻と、機械工学や電子工学などの製品開発支援技術を深める専攻から構成されています。産業構造の変化に伴う技術の変容に対して柔軟に対応して、研究開発を行える研究者や高度な専門技術者を養成します。



教育課程の概要

	ソフトウェア工学専攻	データサイエンス専攻	機械電子制御工学専攻
共通科目・専攻科目・専門科目	ソフトウェア解析特論 データベース工学特論 ソフトウェア工学特論 ソフトウェアアーキテクチャ特論 数理論理学特論	データサイエンス後期特論 (オペレーションズ・リサーチ) データサイエンス後期特論 (最適化法) データサイエンス後期特論 (統計科学) データサイエンス後期特論 (機械学習と人工知能)	機械電子制御工学後期特論 (電子系) 機械電子制御工学後期特論 (機械系) 電子情報工学後期特論 機械システム工学後期特論
研究指導科目	研究指導 IA～VI	後期特別研究 IA～VI	後期特別研究 IA～VI



学生募集に関する情報

入学者選抜の基本的な考え方(理工学研究科)

各専攻の目標に応じて以下のような人を求めています。

ソフトウェア工学専攻(博士前期課程・博士後期課程)

- 数学、物理学、英語の学力を有する人
- ソフトウェア工学または情報科学の技術を理解し、運用できる人
- ソフトウェア工学の応用や新しい技術に対する知的好奇心を持ち、特定の研究課題の解決法を探究する意欲を有する人

電子情報工学専攻(博士前期課程)

- 数学、物理学、英語の学力を有する人
- 電子工学および情報工学の基礎技術を理解し、適用できる人
- 電子工学および情報工学の応用や新しい技術に対する知的好奇心を持ち、特定の研究課題の解決法を探究する意欲を有する人

機械電子制御工学専攻(博士後期課程)

電子情報工学専修

- 電子工学および情報工学の修士課程修了程度の専門知識を有する人
- 電子工学および情報工学に関する高度な技術の修得とその研究開発に高い関心と探求心を持つ人
- 本専攻で修得した力を用いて社会に貢献する意欲のある人

データサイエンス専攻(博士前期課程・博士後期課程)

- オペレーションズ・リサーチ、統計学、機械学習などの数理モデル化技術の一定程度の専門知識を有する人
- オペレーションズ・リサーチ、統計学、機械学習などの数理モデル化技術とその研究開発に興味を持つ人
- 本専攻で修得した力を用いて社会に貢献する意欲のある人

機械システム工学専攻(博士前期課程)

- 数学、物理学、英語の学力を有する人
- 制御工学および機械工学の技術を理解し、適用できる人
- 制御工学および機械工学の応用や新しい技術に対する知的好奇心を持ち、特定の研究課題の解決法を探究する意欲を有する人

機械システム工学専修

- 制御工学および機械工学の修士課程修了程度の専門的知識を有する人
- 制御工学および機械工学に関する高度な技術の修得とその研究開発に高い関心と探求心を持つ人
- 本専攻で修得した力を用いて社会に貢献する意欲のある人

募集人員

		入学定員	一般入試	社会人入試	推薦入試
博士前期課程	ソフトウェア工学専攻	10名	4名	1名	5名
	データサイエンス専攻	10名	4名	1名	5名
	機械システム工学専攻	8名	3名	1名	4名
	電子情報工学専攻	8名	3名	1名	4名
博士後期課程	ソフトウェア工学専攻	若干名	若干名	若干名	-
	データサイエンス専攻				
	機械電子制御工学専攻				

入学試験の概要

		試験方法
博士前期課程	一般入学試験	数学・物理(配点150点) 英語(辞書持ち込み可、配点100点) 専門領域に関する基礎知識(配点200点) ^{※1} 口述試問(配点200点)
	社会人入学審査 ^{※2}	書類審査および入学後の研究計画書 ^{※3} を中心とした口述試問(配点100点)
	推薦入学審査	口述試問(配点100点)
	国内在住外国人入学審査	数学・物理(配点150点) 英語(辞書持ち込み可、配点100点) 専門領域に関する基礎知識(配点200点) ^{※1} 口述試問(配点200点)
博士後期課程	一般入学試験 ^{※4}	口述試問(筆記試験はありません)(配点100点)
	社会人入学審査 ^{※2} ^{※4}	書類審査および入学後の研究計画書 ^{※3} を中心とした口述試問(配点100点)
	国内在住外国人入学審査 ^{※4}	口述試問(筆記試験はありません)(配点100点)
	国外在住者入学審査 ^{※4}	書類審査

※1 ソフトウェア工学、情報科学、オペレーションズ・リサーチ、統計学、機械学習工学、通信ネットワーク、数理論理学、機械工学、制御工学の9題から出題します。試験場で専攻に応じた2題を選択します。

※2 「社会人」は「2年以上の就業経験を有する者」とし、現在職業に就いているかどうかは問いません。

※3 過去の実務経験等を基礎にした入学後の研究計画についてのA4サイズ用紙2枚程度の記述です。出願に係る所定用紙は本学Webページ「大学院」[入試情報]からダウンロードできます。

※4 博士後期課程においては、英語による授業、研究指導を希望する場合は、相談に応じます。

入学時期を春と秋から選択することが可能です。

4月だけでなく9月に入学を希望する方にも対応します。ご自身のスケジュールによって、より柔軟な研究計画を立てることができます。専攻や課程により対応する入試種別や入試日程が異なる場合がありますので、詳細については入試要項で確認してください。

経済的支援

学生支援機構や各種財団などの奨学金、TA(教育助手)、RA(研究助手)に対する謝金、理工学研究センターを通じての外部資金による補助、国内外における学会発表に対する必要経費の補助など各種の経済的支援体制を整えています。

※社会人入学審査により入学された社会人学生のうち、あらかじめ2か年を超えて履修することを希望する人に対し、3年目の履修年度に授業料および施設設備費相当額を奨学金として給付する制度があります。

研究者紹介

前：博士前期課程
後：博士後期課程

ソフトウェア工学専攻

< 研究指導教員 >

教授 **天寄 聡介** Sousuke Amasaki 前 後
 [専攻分野：ソフトウェア工学]
 ◆研究分野：データを活用したソフトウェア開発支援
 ◆主な論文：Cross-version defect prediction: use historical data, cross-project data, or both?, Empirical Software Engineering, Vol.25, No.2, pp.1573-1595, 2020.

教授 **蜂巢 吉成** Yoshinari Hachisu 前 後
 [専攻分野：ソフトウェア工学]
 ◆研究分野：プログラミング教育支援、ソフトウェア開発支援
 ◆主な論文：複数のプログラミング言語の文法知識に起因する制御文の誤りの自動修正ツールの試作(共著), コンピュータソフトウェア, Vol. 39, No. 4, pp. 4_38-4_48 (2022年)

教授 **沢田 篤史** Atsushi Sawada 前 後
 [専攻分野：ソフトウェア工学]
 ◆研究分野：ソフトウェア開発環境、組み込みソフトウェア開発支援
 ◆主な論文：ソフトウェアアーキテクチャの設計と文書化の技術, コンピュータソフトウェア, Vol.32, No.1, pp.35-46.

教授 **吉田 敦** Atsushi Yoshida 前 後
 [専攻分野：ソフトウェア工学]
 ◆研究分野：プログラムの理解編集支援
 ◆主な論文：正規表現に基づく属性付き字句列の書換え系 TEBA の改善, コンピュータソフトウェア, Vol.41, No.3, pp.41-55, 2024.

教授 **張 漢明** Han-Myung Chang 前 (後 研究指導補助)
 [専攻分野：ソフトウェア工学]
 ◆研究分野：形式的なアプローチに基づくソフトウェア開発手法
 ◆主な著作：『プログラム仕様記述論(IT Text シリーズ)』(共著)、オーム社(2002年)

教授 **名倉 正剛** Masataka Nagura 前 後
 [専攻分野：ソフトウェア工学]
 ◆研究分野：ソフトウェア開発と運用・保守の支援を行う技術に関する研究
 ◆主な論文：静的解析ツールが示す優先度は開発者の役に立つのか?, 電子情報通信学会論文誌 D, Vol.J107-D, No.2, pp.77-81 (2024年)

教授 **横森 励士** Reishi Yokomori 前 (後 研究指導補助)
 [専攻分野：ソフトウェア工学]
 ◆研究分野：プログラム開発支援を目的としたプログラム解析手法に関する研究
 ◆主な論文：利用実績に基づくソフトウェア部品重要度評価システム(共著), 電子情報通信学会論文誌D-1, Vol.J86-D-1 (2003年), No.9, pp.671-681.

データサイエンス専攻

< 研究指導教員 >

教授 **蛭川 潤一** Junichi Hirukawa 前 (後 研究指導補助)
 [専攻分野：数理統計学]
 ◆研究分野：時系列解析、金融工学、ウェブレット解析
 ◆主な論文：Asymptotic properties of mildly explosive process with locally stationary disturbance. Metrika, 84(4), 511-534, 2021.

教授 **小市 俊悟** Shungo Koichi 前 後
 [専攻分野：数理最適化、機械学習、深層学習]
 ◆研究分野：最適化手法の開発、機械学習の学習方法の開発
 ◆主な論文：Exploring machine learning tools for the prediction of the stability of new Togni-type reagents. CHIMIA, 73/12(2019), pp. 990-996.

教授 **松田 眞一** Shin-ichi Matsuda 前 後
 [専攻分野：統計学、ビッグデータ解析]
 ◆研究分野：多重比較
 ◆主な論文：「FDRの概説とそれを制御する多重検定法の比較」, 計量生物学, 第29巻(2008年), 第2号, pp.125-139.

教授 **佐々木 美裕** Mihiro Sasaki 前 後
 [専攻分野：オペレーションズ・リサーチ]
 ◆研究分野：施設配置モデルとその応用
 ◆主な論文：Hub network design model in a competitive environment with flow threshold(単著), Journal of the Operations Research Society of Japan, Vol.48 (2005), pp.158-171.

教授 **鈴木 敦夫** Atsuo Suzuki 前 後
 [専攻分野：オペレーションズ・リサーチ]
 ◆研究分野：最適配置問題・オペレーションズ・リサーチの応用
 ◆主な論文：Mari Ito, Atsuo Suzuki, Yoshihiro Fujiwara, A Prototype Operating Room Scheduling System - A Case Study at Aichi Medical University Hospital -, Journal of Japan Industrial Management Association, 67, 202-214, 2016.

教授 **河野 浩之** Hiroyuki Kawano 前 後
 [専攻分野：情報システム、機械学習、人工知能]
 ◆研究分野：データマイニング、データベース・アプリケーション、コンピュータネットワーク
 ◆主な論文：Proposal of Japanese Vocabulary Difficulty Level Dictionaries for Automated Essay Scoring Support System Using Rubric, Journal of the Operations Research Society of China, pp.1-17, 2019.

教授 **小藤 俊幸** Toshiyuki Koto 前 後
 [専攻分野：数値解析、応用数学]
 ◆研究分野：数学一般(含確率論、統計学)
 ◆主な論文：遅延積分微分方程式に対する一般化線形多段階法の安定性について(共著), 日本応用数理学会(2008年), P199-216.

教授 **三浦 英俊** Hidetoshi Miura 前 後
 [専攻分野：オペレーションズ・リサーチ]
 ◆研究分野：都市解析
 ◆主な論文：「格子状交通ネットワークモデルにおける移動経路と流動交差量の分布について」, 都市計画論文集, 52(3), 717-722, 2017年10月

教授 **塩濱 敬之** Takayuki Shiohama 前 後
 [専攻分野：数理統計学、ビッグデータ解析]
 ◆研究分野：統計的推測理論、数理・計量ファイナンス
 ◆主な論文：A mixture transition distribution modeling for higher-order circular Markov processes. Journal of Time Series Analysis, (Forthcoming), 2024.

博士前期課程 電子情報工学専攻
博士後期課程 機械電子制御工学専攻 電子情報工学専修

< 研究指導教員 >

教授 藤井 勝之 Katsuyuki Fujii 前 後
[専攻分野：電気電子工学]
◆研究分野：電磁波と生体の相互作用評価
◆主な論文：Stabilization of phantom fabrication by degassing using ultrasonic vibrations, IEICE Communications Express, vol.11, no.5, pp.229-233, May 2022. (共著)

教授 石原 靖哲 Yasunori Ishihara 前 後
[専攻分野：計算機科学]
◆研究分野：データベース理論、情報セキュリティ
◆主な論文：SPJ問合せに相当する双方向変換が関数従属性に対して整合性をもつための必要十分条件, 電子情報通信学会論文誌(D), Vol.J109-D, No.4, 2026. doi: 10.14923/transinfj.2025PDP0016.(共著)

教授 桑原 寛明 Hiroaki Kuwabara 前 後
[専攻分野：ソフトウェア工学]
◆研究分野：形式手法に基づくソフトウェア開発支援
◆主な論文：桑原 寛明, 國枝 義敏, 情報流解析におけるDeclassifierの配置手法, コンピュータソフトウェア, Vol.32, No.1, pp.136-146, 2015.

教授 佐々木 克巳 Katsumi Sasaki 前 後
[専攻分野：数理論理学]
◆研究分野：非古典論理とその応用
◆主な論文：A sequent system without improper derivations, Bulletin of the Section of Logic 51/1, pp. 91-108, 2022.

教授 高田 豊雄 Toyoo Takata 前 後
[専攻分野：情報科学]
◆研究分野：情報理論、情報セキュリティ
◆主な論文：TCPコネクション数と継続時間に基づくSlow HTTP DoS攻撃に対する防御手法, 情報処理学会論文誌, Vol.61, No.3, 581-590, 2020. (共著)

教授 鷹取 泰司 Yasushi Takatori 前 後
[専攻分野：無線工学]
◆研究分野：ワイヤレス通信システム、無線センシング
◆主な論文：An Open-Source SDR-Based Device-Free Sensing Platform for Integrated Sensing and Communication (ISAC), in IEEE Open Journal of the Communications Society, vol. 6, pp. 9982-9990, 2025, doi: 10.1109/OJCOMS.2025.3623613.

教授 横山 哲郎 Tetsuo Yokoyama 前 後
[専攻分野：計算機科学]
◆研究分野：プログラミング言語、可逆計算
◆主な論文：Reversible computing from a programming language perspective, Theoretical Computer Science, Vol.953, pp.113429:1-26, 2023.

准教授 藤原 正浩 Masahiro Fujiwara 前 後
[専攻分野：物理情報学]
◆研究分野：計測工学、ハプティクス
◆主な論文：ULTLever: Ultrasound-Driven Passive Haptic Actuator Based on Amplifying Radiation Force Using a Simple Lever Mechanism, IEEE Transactions on Haptics, vol. 17, no. 3, pp. 471-482, 2024.(共著)

博士前期課程 機械システム工学専攻
博士後期課程 機械電子制御工学専攻 機械システム工学専修

< 研究指導教員 >

教授 陳 幹 Gan Chen 前 後
[専攻分野：制御工学]
◆研究分野：現代制御理論
◆主な論文：Robust control design for ball screw system focusing on the friction model, International Journal of Modelling, Identification and Control, Vol.26, No.3, pp.207-217, 2016

教授 稲垣 伸吉 Shinkichi Inagaki 前 後
[専攻分野：ロボット工学、システム工学]
◆研究分野：多脚ロボット、エネルギー管理システム、自律分散システム
◆主な著作：Multiple local controls integrated by RMPs for FCP-based hexapod walking, SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration, Vol. 17, No. 1, pp. 195-210, 2024 (共著)

教授 中島 明 Akira Nakashima 前 後
[専攻分野：ロボット工学、制御工学]
◆研究分野：人の役に立つロボット・機械システムの開発
◆主な論文：配位座標の制限を伴う2指ハンドによる転がり接触の非ホロノミック性に基づく把持対象物の操り制御, 計測自動制御学会論文誌, 計測自動制御学会, 54/3, pp.320-330, 2018

教授 大石 泰章 Yasuaki Oishi 前 後
[専攻分野：制御理論]
◆研究分野：制御理論、特にその最適化や数値計算との接点
◆主な論文：Y. Oishi, T. Iwata, and M. Nagahara, Generation of a sparse input with a receding-horizon technique: optimality in the infinite horizon, in Proceedings of the 2023 SICE International Symposium on Control Systems, Kusatsu, Japan, March 2023.

教授 坂本 登 Noboru Sakamoto 前 後
[専攻分野：非線形制御理論、動的システム理論]
◆研究分野：非線形最適制御の数値解法
◆主な論文：When does stabilizability imply the existence of infinite horizon optimal control in nonlinear systems?, Automatica, Vol. 147, 110706, 2023. (単著)

教授 杉本 謙二 Kenji Sugimoto 前 後
[専攻分野：制御工学]
◆研究分野：多入出力線形制御、適応学習、ネットワーク制御
◆主な論文：Establishment of Strictly Positive Real Condition for Tuning MIMO Feedforward Control, IEEE Control Systems Letters, Vol. 6, pp. 1454-1459 (2022)

教授 潮 俊光 Toshimitsu Ushio 前 後
[専攻分野：システム理論、非線形現象解析]
◆研究分野：サイバーフィジカルシステムの解析と制御
◆主な論文：Collaborative Rover-copter Path Planning and Exploration with Temporal Logic Specifications Based on Bayesian Update Under Uncertain Environments, ACM Trans. on Cyber-Physical Systems, vol. 6, no. 2, Article No. 11, 2022.

学生の修了後の進路 (理工学研究科博士前期・後期課程)

高度な専門職業人

① 情報処理のスキルと数理的な手法を修得した学生

一般企業の管理・生産部門／技術コンサルタント／金融機関／公共機関／研究所

② 数理的な手法を用いてコンピュータネットワークの設計、分析能力を修得した学生

ソフトウェア開発 (企業)／通信関係の企業／技術コンサルタント／研究所

進路・就職先 (2021～2025年度実績)

リンナイ	マキタ	村田機械	FUJI
ジェイテクト	ヤマザキマザック	三菱重工業	ノリタケ
オークマ	イビデン	住友電装	三菱電機
日立製作所	富士電機	富士通	デンソーウェーブ
トヨタ自動車	アドヴィックス	ヤマハ発動機	アイシン
デンソー	東海理化電機製作所	豊田自動織機	トヨタ紡織
スズキ	本田技研工業	SCSK	シーイーシー
トヨタシステムズ	NTTドコモ	ソフトバンク	日本放送協会 (NHK)
東海旅客鉄道 (JR東海)	三菱電機デジタルイノベーション	三菱UFJ銀行	トヨタテクニカルディベロップメント
岐阜県教育委員会	中央大学 (教員)	名古屋市人事委員会	

各種奨学支援制度

理工学研究センター 大学院理工学研究科奨学金

理工学研究センターでは南山大学大学院理工学研究科の入学者、在学生に対して給付型奨学金を設けています。奨学金の出願にあたっては理工学研究センターからの募集案内に従ってください。

南山大学理工学研究センター大学院理工学研究科研究奨励奨学費

対象	本学大学院理工学研究科博士前期課程または博士後期課程へ入学した者 (12名程度)
支援内容	10万円程度

南山大学理工学研究センター大学院理工学研究科博士後期課程研究奨励奨学費

対象	本学大学院理工学研究科博士後期課程在学者
支援内容	25万円を給付する

南山大学理工学研究センター大学院理工学研究科随時奨学金

対象	本学大学院理工学研究科博士前期課程在学者で学費支弁が困難な者 (若干名)
支援内容	10万円程度 * 給付は在学中1回に限る

南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度

博士後期課程に在学する学生を対象に、授業料等を減免し、博士の学位取得を支援することを目的とした「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」があります。資格審査その他の詳細は、入試要項(※)をご確認ください。

支援内容	授業料および施設設備費の半額を減免する
期間	1年間 * ただし、同様の手続きを行うことにより、翌年も引き続き支援を受けることが可能 (年度毎に審査有)

※入試要項はこちら▶



南山大学

入試に関する問い合わせ先

入学センター Phone(052)832-3119 Email ml-grad@nanzan-u.ac.jp

履修内容等に関する問い合わせ先

理工学研究科事務室 Phone(052)832-3278

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/

2026年4月発行